

《担当者名》○近藤 啓 丸川活司 入江一元（歯）

【概 要】

病理組織検査は、診断、治療に直接結びつく重要な検査である。正確な検査結果を得るには、適切な検体処理や標本作製の知識が必要となってくる。そのため、病理組織標本作製に関する、固定法、脱灰法、薄切法および各種染色法の原理や手法、また近年診断に必須である免疫組織化学染色やFISH法をはじめとする遺伝子検査の知識習得を目指し解説する。さらに電子顕微鏡や病理解剖の意義などについても説明する。

【学修目標】

- 1) 各種病理組織学的検査を習得するために、その内容と意義について理解する。
- 2) 固定法、脱灰法、薄切法、各種染色法など病理組織標本作製の基本的手技について説明できる。
- 3) 電子顕微鏡標本作製の原理、手順および結果の解釈について説明できる。
- 4) 病理解剖の意義と実際について説明できる。
- 5) 病理標本を用いた分子病理学的検査について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	病理組織学的検査法	・ガイダンス ・病理組織学的検査の目的と意義 ・病理組織標本作製の順序 教科書：P199-201	近藤 啓
2	固定法・脱灰法 組織片の切り出し	・各種固定法 ・各種脱灰法 ・切り出しの概要と実際 教科書：P202-216	近藤 啓
3	包埋法 薄切法 凍結切片標本作製法	・パラフィン包埋等の包埋法 ・薄切法 ・凍結切片標本作製法 教科書：P216-237	近藤 啓
4	染色法総論 一般染色	・染色法概論 ・脱水・透徹・封入 ・ヘマトキシリン・エオジン染色 教科書：P237-251	近藤 啓
5	結合組織染色	・膠原線維の各種染色法 ・弾性線維の各種染色法 キーワード：アザン染色、マッソントリクローム染色、エラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア青染色	近藤 啓
6	多糖体染色 アミロイド染色	・多糖類の各種染色法 ・アミロイドの各種染色法 キーワード：PAS反応、アルシアン青染色、ムチカルミン染色、トルイジン青染色、コンゴー赤染色	近藤 啓
7	銀染色	・銀液を使用した各種染色法 キーワード：PAM染色、鍍銀染色、グリメリウス染色、グロコット染色	近藤 啓
8	核酸染色 生体内色素染色 脂肪染色	・核酸の各種染色法 ・生体内色素の各種染色法 ・脂質の各種染色法 キーワード：メチル緑・ピロニン染色、マッソン・フォンタナ染色、ズダンIII染色、オイル赤O染色、ズダン黒B染色	近藤 啓
9	無機物質の染色 病原体染色	・組織内無機物質の各種染色法 ・組織内病原体の各種染色法 キーワード：ベルリン青染色、コッサ反応、チール・	近藤 啓

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		ネルゼン染色、オルセイン染色	
10	神経組織染色 線維素染色	・神経組織の各種染色法 ・線維素の各種染色法 キーワード：クリューバー・バレラ染色、ボディアン染色、PTAH染色	近藤 啓
11	組織化学染色	・免疫組織化学染色 ・蛍光抗体法 教科書：P305-321	近藤 啓
12	遺伝子検査	・分子病理診断技術 ・プレシジョンメディシンについて キーワード：遺伝子検査、がんゲノム医療、オーダーメイド医療	丸川活司
13	電子顕微鏡標本作製法	・電子顕微鏡標本の作製法 ・電子顕微鏡標本の観察法 教科書：P324-330	入江一元
14	病理解剖	・病理解剖の意義と実際 ・病理解剖に必要な基礎知識 教科書：P330-333	丸川活司
15	病理学的検査業務の管理 まとめ	・病理学的検査業務の管理 ・総括 教科書：P333-337	近藤 啓

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 80％ 課題20％

【教科書】

松原 修 他 編集「臨床検査学講座 病理学/病理検査学 第1版」 医歯薬出版 2020年

【参考書】

水口國雄 他 編集「Medical Technology別冊 染色法のすべて」 医歯薬出版 2021年

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 監修「JAMT技術教本シリーズ 病理検査技術教本」 丸善出版 2017年

【備考】

クリッカーを使用し、学生の理解度を把握する。

Google Formを利用して学修課題を提示する。

【学修の準備】

次回の授業内容について、教科書を読み理解しておくこと（80分）

講義で用いた資料に関して復習し、要点をまとめる（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

【実務経験】

近藤 啓（臨床検査技師）、丸川活司（臨床検査技師）、入江一元（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、病理組織学的検査の意義と各種検査法の内容について講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している